P. B.4.

Bible.

新約聖書哥羅西書

全

價壹錢

SCC
8763

耶穌降生一千八百八十年

翻譯委員社中

米國聖書會社

新約聖書哥羅西書

明治十三年

日本横濱上梓

使徒パウロコロサイ人におくれる書

第一章

神のむねによりて耶穌キリストの使徒となれる
パウロおよび兄弟テモテ 二 書をキリストにあるコロサイにをる
ところの聖徒とちゆうしんの兄弟たちにおくる。ねがはくは
なんぢらにわれらの父なる神および主いゑすキリストより恩
寵と平康をうけよ○ 三 我儕なんぢらがキリストいゑすを信
ずることおよびその 四 聖徒をあはれむことを聞てなんぢら
の為にいのるとき恒にわれらの主いゑすキリストの父なる
神にかんしやす 五 なんぢらが如此せいとを愛するはなん
ぢらのために天にたくはへあるところののぞみの即さきにふく

いんの眞理のことば此なのまてきゝしところのものを望みがゆゑなり 六 この福音はせかいにあまねきがごとく爾儕にもきたれり且なんぢらがこれをきゝて神のめぐみを眞實にさとりし日よりなんぢらのうちに果をむすびますく大になるごとく世界にも果をむすびて大になれり 七 このく福音はわれらの愛するおなじ役者エパフラスよりなんぢらが學ぶところのものなりエパフラスはなんぢらのためにキリストの忠信なるしもべなり 八 彼さきになんぢらが靈によりて懐るあいをわれらに告 九 このゆゑにわれらもその事をきゝし日よりなんぢらのためにたえず祈禱をしこゝろ求ねが

はくはなんぢら靈のなかなるすべての智慧と穎悟とをも
てことごとく神旨をしり 十 すべてのことに主をよろこばせ
んがため其みごころにかなひて日をおくりすべての善
事によりて果をむすびかつ神をしるによりて徳に
まし 十一 また神のさかえの權威にしたがひて賜もろ〳〵の
能力をえて強なり凡事よろこびて恒忍かつ久耐 十二 またわ
れらをして光にあるせいとの業の分をうくるにたふる者
とならしめたまふ父のめぐみを感謝せんことを 十三 かれ
暗のけんゐよりわれらを救いだしてその愛子のくにゝう
つしたまへり 十四 われらその子によりて贖すなはち罪の由

るしをうるなり 十五 このもの人のみることをえざる神の狀に

してすべてのつくられしものゝ先にうまれしものなり

十六 それ彼によりて萬物はつくられたり天にあるもの地上

にあるもの人のみることをうるもの見ことをえざるもの

或はくらゐある者あるひは主たるものあるひは政をとる

ものあるひは權威あるものすべてのもの彼によりてつく

られたり且そのつくられたるは彼がためなり 十七 このもの萬

物よりさきにあり萬物このものによりて存ことをうるなり

十八 教會はこのものの身體にして彼はその首なりこのものは元始に

してすべてのことにつきて長とならんために死のなかより

はじめに生(うまれ)しものなり
十九 それ父(ちち)すべての徳(とく)をもて彼(かれ)にみてしめその十字架(じふじか)の血(ち)によりて平和(へいわ)をなし萬物(すべてのもの)すなはち地上(ちのうへ)にあるもの天(てん)にあるものをして彼(かれ)によりて己(おのれ)とやはらがしむることは是(これ)そのみこころにかなふことなり
二十一 夫(それ)なんぢらはもと惡行(あしきおこなひ)をおこなふによりて神(かみ)にとほざかり心(こころ)にてその敵(あだ)となれるものなりしが
二十二 神(かみ)いまキリストの肉(にく)のからだをもてその死(しに)よりなんぢらをして己(おのれ)とやはらがせ潔淨(きよく)けがれなく咎(とが)なくして己(おのれ)のまへにたゝしめんとす
二十三 もしなんぢら信仰(しんかう)にとゞまりその基(もとゐ)をさだめかつ堅(かた)くしてふくいんの望(のぞみ)よりうつらざれ如此(かく)せらるゝことを得(う)

べし。この福音ハすなはちなんぢらのきゝしところなり且
すでに天下のすべての人につたはれり。われパウロその役者
となれるなり○二四今われなんぢらのためにうくる苦をよろこび
又わが肉體をもてキリストの體すなはち教會のためにその
患難のうけたるところを補ふ二五われなんぢらのために神
のたまふところの職に志たがひこの教會のつかへびとゝな
りてあまねく神のことばをつたへんとは二六此ことばハ歴
世歴代かくされたる奥義なりしが今その聖徒にあらはれた
り二七神せいとをして異邦人のうちにあらはれし奥義のさ
かえのいかに豊なるを志らしめんと志たまへり。この奥義

はなんぢらのなかにつたへしキリストなり彼(かれ)はなんぢらののぞむところの榮(さかえ)此のぞみなり 二八 われら彼(かれ)をつたへ各人(ひとびと)をいましめ諸般(さまざま)のちゑをもてひとびとを教(をしへ)ひとびとをしてキリストのうちに全(まつたき)をえて神(かみ)のまへにたゝしめんとせり 二九 我(われ)これがために大能(ちから)をもてわが裏(うち)にはたらく者(もの)のはたらきにしたがひ力(ちから)をつくして勞(らう)するなり

第二章(だいにしやう)

一 それなんぢらおよびラオデキヤにあるひとびとまた我(われ)にくたいにある面(かほ)をいまだみざる人(ひと)のためにわが心(こころ)をいたますることいかばかりなるをなんぢらがしらんことを望(のぞむ) 二 これらがこころを勞(らう)するはこのものらが心(こころ)あいによりてひとつになり疑(うたがひ)をい

たらざる全きさとりの富をえたる父なる神とキリストの奥義をしりて安慰をえんことを欲するなり 三 智慧と知識のたくはへハ一切キリストにかくれあるなり 四 誰にても巧言をもてなんぢらを欺ことなからんために我これらのことをいへり 五 夫われ肉體はなんぢらと離をるといへども靈はなんぢらとともにをりて喜なんぢらが次序あるとキリストをしんずる信のかたきを見なり 六 なんぢらすでに主キリストイエスを承たれば彼にありてあゆむべし 七 なんぢら根をうゑにおき彼にありて徳をたて又をしへをうけたるところに從てしんかうをかたくし此をますく大にして

感謝せよ〇八なんぢら慎べしおそらくハキリストに志たが
はぬ人のつたへと世の小學に志たがひ空言なる理學をも
てなんぢらの心をうばはん九それ神のみちたまへる徳を
ことごとく形體をなしてキリストにまします十彼ハすべての
まつりごとと權威のかしらなり。なんぢら彼にありて全備
なることを得るなり十一なんぢら彼にありて手をもてせざる
割禮をうく即にくのからだをぬぎさるところのキリスト此
のつまびなり十二なんぢらバプテスマをうけて彼とともに葬
られまた死より彼をよみがへらせし神のはたらきを信ぜ
るによりて彼とともに甦らされたり十三なんぢら前にま

わろくのつみと身にかつれいなきことによりて死たるもの
なり。されど神なんぢらをしてすべての罪をゆるし彼とと
もに生しめ 十四 、のつ手にてしるせしところのきまりをせむ
る規條のふみ即ちきまりにさからふものを塗抹しこれを中間
よりとりさり釘をもてその十字架につけたまへり 十五 又ま
つりごとをとるものと權威あるものをはらばし彼儕をすべ
てのあらはに示しキリストによりて勝ほこれり○ 十六 この故にあ
るひは飲ことあるひは食ことあるひは節期あるひは月朔
あるひは安息日のことにより人をしてなんぢらを議せし
むることなかれ 十七 これらは皆きたらんとするものの影にし

てそのまことの形(かたち)ハキリストにつけり 十八 へりくだることをこのみ
天使(てんのつかひ)をはいすることによりてなんぢらの褒美(ほうび)をうばはむ
きとこころむる人(ひと)にそのまなびをとらるるなかれ斯(かく)のご
とき人(ひと)ハいまだ見(み)ざるものをうかがひ己(おのれ)のこころによりてたかぶり
ひそかに妄(みだり)ほこり首(かしら)につくことをせざるなり 十九 全體(ぜんたい)ハかし
らによりもろもろの節(ふし)と維(すぢ)をもて相(あひ)たすけ相(あひ)つらなり神(かみ)
にそだてられて長(そだつ)なり 二十 二一 二二 もしなんぢらキリストとともに志(し)
にて世(よ)のせうがくよりはなれたらんにはなんぞ世(よ)にあり
て日(ひ)をおくるもののごとく人(ひと)のいましめと教(をしへ)にしたがひ
捫(さはる)なかれ嘗(なむる)なかれ觸(ふるる)なかれといふ律法(おきて)の下(もと)にあるや。これ

らの禁じたまふものハすべて人こゝろを用ゐてつくるなり
これらの規條ハみづから縦にして拝することをなし。かつ
謙遜なる身をおしまざるによりて智慧あるものゝごとく
みゆれども實ハたふときものにあらねバ唯にくたいの慾をみ
ちたらしむるなり

第三章 既になんぢらキリストとともによみがへりたれバ天
にあるものを求べしキリストハこゝにありて神の右に坐し
たまへり 二 なんぢら天にあるものをおもひ地にあるもの
をおもふなかれ 三 夫なんぢらハ死しものにてその命ハキ
リストとともに神のうちにかくれたるなり 四 われらの命

なるキリストのあらはれんときなんぢらもこれとともに榮の
なかにあらはるゝなり 五 此故になんぢらの地にある肢體
すなはち奸淫 汚穢 邪情 惡欲 および貪婪をころすべし 貪
婪はすなはち偶像を拜することなり 六 これらの事により
て神のいかりしたがはざるものにいたるなり 七 なんぢらもさき
に斯のごとき人のなかに日をおくりしときは此等の惡事
をつねにおこなへり 八 されどなんぢら今はすべてこれらの
の惡事および恚憾 忿怒 暴戻をさり 誹謗 醜言をなんぢら
の口よりすつべし 九 なんぢらすでに舊人とその行をぬぎ
てあたらしき人を衣たまへばたがひに謊をいふなかれ 十

この新人はいよ〳〵あらたになり人をつくりしものゝ像にしたがひて知識にいたるなり 十一 かくのごときにいたりてはギリシヤびとユダヤ人あるひは割禮あるものとうけざる者あるひは夷狄あるひはスクテヤ人あるひは奴隷あるひは自主の別なし夫キリストは萬物のうへにあり亦すべてのもののうちにあり○十二 この故になんぢら神にえらばれて聖潔このうへ愛せらるゝものとなりたれば慈悲めぐみ謙遜にして忍耐を衣よ 十三 なんぢらたがひに容忍をなし若し人にせむべきことあらばこれをゆるせキリストなんぢらを恕たまへるごとくなんぢらも然すべし 十四 此もろ〳〵の事の上に

に愛をくはへよ。あいハ衆徳の帯なり 十五 なんぢらキリストの
たまふ平安をしてその心をつかさどらしめよ。なんぢら一つの
體にありてこの平安にいたるべき召をうけたりなんぢ
ら恩恵にかんずべし 十六 キリストの道をしてなんぢらの心に
とゞめて充足しめ。すべての智慧により詩と歌と靈にかんじ
てつくれる賦とをもてたがひに相をしへ相すゝめ恩恵に
かんじてこゝろのうちに神をさんびすべし 十七 なんぢらの
爲ところの諸事あるひハ言あるひハ行みな主いゑすの名
のためにこれをなし彼によりてちゝなる神にかんしやす
べし〇 十八 妻なるものはその夫にしたがふべし此ハ主にあ

るものゝなき悪きことなり 十九 夫なるものよその妻をあい
すべし苦をもてこれをあしらふなかれ 二十 子なるものよな
んぢらすべてのこと二親よしたがふべし。これ主のよろこ
びたまふところなり 二一 父なるものよなんぢらの子をいか
らするなかれおそらくハその氣うしなはん 二二 僕なるものよす
べてのこと肉體につける主人よしたがふべし人をよろこ
ばする者のごとくたゞ眼前のことをつとむることなく誠
心をもて神をおそれてしたがへ 二三 なんぢら何事もひとによ
つかふるがごとくせず主につかふるごとく心よりこれを
行べし 二四 そハなんぢらハ主より報賞なる嗣業（ヨツギノシンダイ）をうくるこ

とをしるものなればなり。なんぢら主なるキリストにつかふ
べし 二五 不義をおこなふものは亦そのふぎのむくいをうく
主はひとをかたよりみたまふことなし

第四章 主人なるものよなんぢらもまた天に主あることを
しれば義にしたがひ公平をもてその僕をあしらふべし○

二 つねに祈祷をなしおこたらずしかして感謝とともにこれを
なすべし 三 また神われらに道をつたふるの門をひらき我
儕をしてキリストのおくぎをつたへしめ 四 我いふべきところ
のごとくこの奥義をあらはさしめたまはんことをわれら
のためにいのるべし我このおくぎのためにつながれたり。

五 なんぢら機(をり)をうかゞひ智慧(ちゑ)をもて外(そと)にある人(ひと)にまじはるべし 六 なんぢらの言(ことば)つねに恩(めぐみ)をもちゐ又塩(しほ)をもて調(あぢ)和(つく)べしさらばいかにして各人(おのおの)にこたふべきかをしらん○

七 わが愛(あい)する兄弟(きやうだい)ちゆうなる役者(つかへびと)われとゝもに主(しゆ)につかふる僕(しもべ)テキコわが事(こと)をことごとくなんぢらに告(つげ)しらせん 八 我(われ)この為を殊(こと)になんぢらにつかはし彼(かれ)をしてなんぢらのことを知(しら)しめなんぢらのこゝろをなぐさめしめんためなり 九 また忠(ちゆう)なるわがあいせる兄弟(きやうだい)なんぢらのうち此一人(ひとり)なるオネシモをこれとゝもに遣(つかは)せり○このもの此處(このところ)のことをことごとくなんぢらにつげしらせん 十 我(われ)とゝもにつながるゝアリ

スタルコおよびバルナバの甥マコなんぢらにやすきを問ふ　このマコ
のことにつきてはなんぢらさきに命をうけたり彼もしなん
ぢらにいたらばこれを接べし　十一　ユストとなづくるイエス
なんぢらに安をとふ割禮をうけしものゝ中たゞこの三人
のみつかへをともにし神のくにのためにはたらけり我このものら
によりて安慰をえたり　十二　なんぢらのうちの一人にてキ
リスト耶穌のしもべなるエパフラスなんぢらにやすきを問ふこの
ものはつねになんぢらのために力をつくして祈禱をなしな
んぢらが完全をえ心をつくして立すべてのことに神のむ
ねにしたがはんことをねがへり　十三　我このものがなんぢらに及

ラオデキヤ ヒエラポリにあるもののために甚こころを労する
ことを證す 十四 したしき愛する醫者ルカおよびデマスなんぢ
らに安をとふ 十五 請なんぢらラオデキヤの兄弟たちとヌンパス
およびその家にある教會に安をとく 十六 なんぢらまで
にこの書をよまばこのことをまたラオデキヤ人のけうくわいに
によませ爾儕もまたラオデキヤよりきたる書をよめ 十七 アルキ
ポにいへなんぢ主にありて受しところの職をつゝしみてよく
盡しとげよと 十八 パウロ親手なんぢらに安を問なんぢ
らわが縲絏をおもへ。ねがはくは恩寵なんぢらとともに
あらんことをアーメン

新約聖書哥羅西書終

PRINTED FOR THE AMERICAN BIBLE SOCIETY.

米國聖書會社藏板